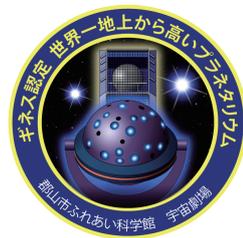


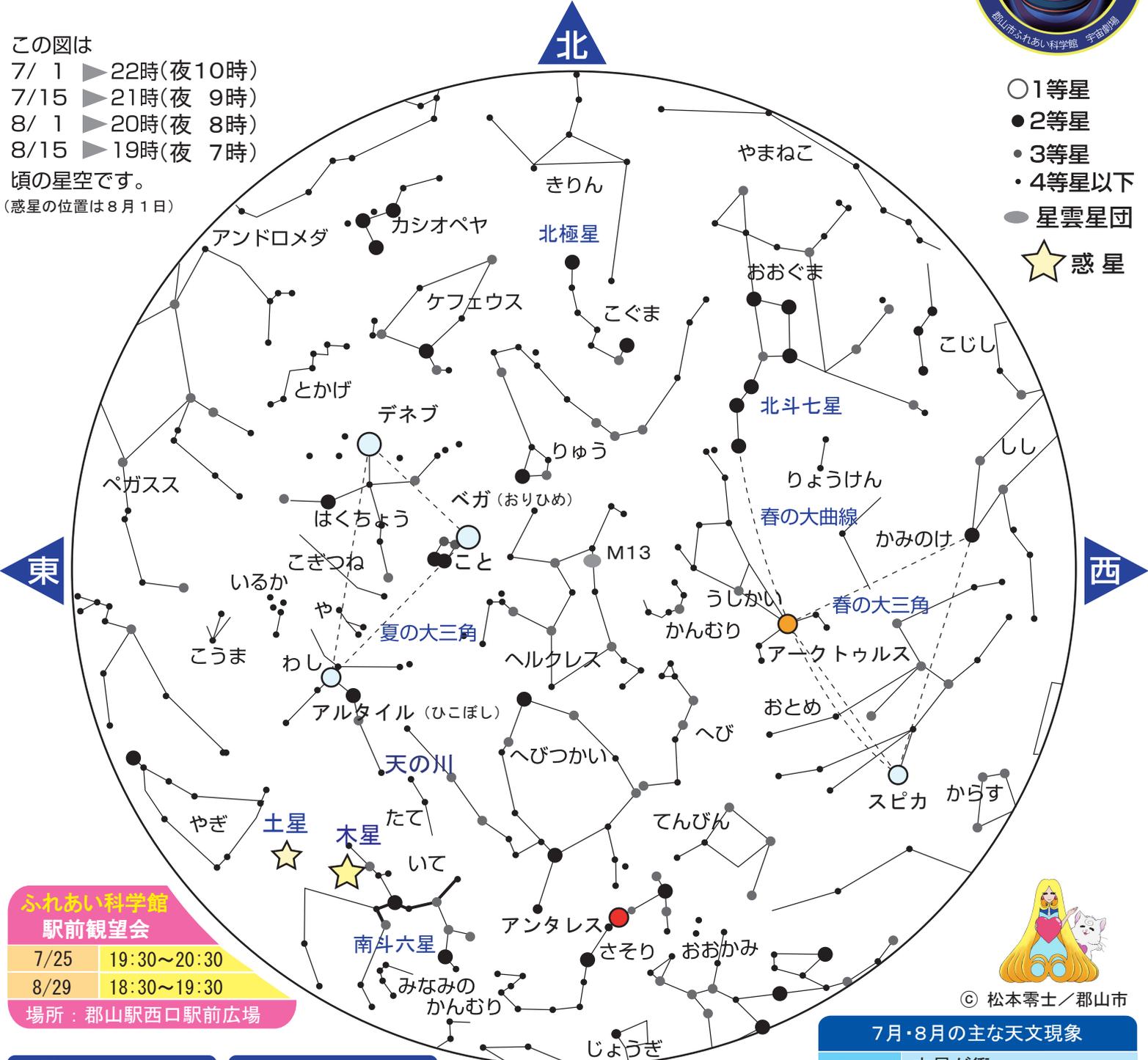
2020年

7月▶8月の星空



この図は
 7/ 1 ▶ 22時(夜 10時)
 7/15 ▶ 21時(夜 9時)
 8/ 1 ▶ 20時(夜 8時)
 8/15 ▶ 19時(夜 7時)
 頃の星空です。
 (惑星の位置は8月1日)

- 1等星
- 2等星
- 3等星
- 4等星以下
- 星雲星団
- ★ 惑星



ふれあい科学館 駅前観望会
 7/25 19:30~20:30
 8/29 18:30~19:30
 場所：郡山駅西口駅前広場



© 松本零士・郡山市

郡山の日の出・日の入			月の満ち欠け	
7/ 1	4:21	19:04	新月	7/21, 8/19
7/15	4:29	19:00	上弦	7/27, 8/26
8/ 1	4:43	18:47	満月	7/ 5, 8/ 4
8/15	4:54	18:31	下弦	7/13, 8/12

※上弦、下弦は半月です。

7月・8月の主な天文現象	
7/14	木星が衝
7/21	土星が衝
7/23	水星西方最大離角
8/12	ペルセウス座流星群極大

今年の夏は、土星と木星が並んで輝いています。縞模様が特徴の木星は7月14日に、美しい環を持つ土星は7月21日にそれぞれ衝となり、一晩中見ることができます。土星の環は、およそ15年に一度見えない時期がやってきます。2017年に大きく傾いていた環は次第に傾きが小さくなり、2025年には見えなくなります。このように土星の環は観察する年によって、違った姿を見せてくれます。また、7月23日前後の数日は、明け方の空ですべての惑星が勢ぞろいします。西南西の地平線近くにある木星を筆頭に、空を横切るように土星、海王星、火星、天王星、金星が並び、東北東の地平線近くでは、水星が輝いています。海王星、天王星は暗く、肉眼では見えませんが、金星、火星、木星、土星は明るいので見つけやすいでしょう。すべての惑星が夜空に並ぶのは珍しいため、早起きをして明け方の空を眺めてみるのはいかがでしょうか。

8月12日には、ペルセウス座流星群が極大となります。この日の月は下弦のため月明かりがあり、条件の良い年よりは見える数は少ないでしょう。月を視界に入れずにすると、観察しやすくなります。空の暗い場所では最大で1時間あたり30個ほどと予想されており、まずまずの数の流星を見ることができそうです。

